

日本ドライケミカル株式会社に対する 「Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス PRO」の実行について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦）は、本日、日本ドライケミカル株式会社（代表取締役社長：亀井 正文、以下「日本ドライケミカル」）に対し、「Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス PRO」（※1、以下「本商品」）を実行しました。

本商品は、ポジティブ・インパクト金融原則（※2）に基づいて開発したインパクト評価フレームワークを活用し、お客さまの企業活動が与える社会的インパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響、※3）を包括的かつ定量的に評価します。その評価において「ポジティブ・インパクトの創出およびネガティブ・インパクトの抑制が認められる」と確認された場合、当該取り組みの継続的な支援を目的としてファイナンスを行うものです。

日本ドライケミカルは、「創ろう ゆたかで安心な未来を テクノロジーで」とのパーパスのもと、経営理念や経営方針をサステナビリティの視点で捉え直したものとして、「サステナビリティ基本方針」を掲げています。さらには、2035年3月期時点における“あるべき企業像”として、「NDC ビジョン 2035」を策定し、世の中に安心・安全を提供するという社会的使命を果たすためにサステナビリティ経営を推進しています。

〈みずほ〉は、このような企業活動を中心に、特に SDGs の目標達成に対しインパクトを与える活動として、別紙記載のテーマについて定性的・定量的に評価しました。

また、株式会社日本格付研究所（JCR）から本件評価にかかるポジティブ・インパクト金融原則への適合性、および環境省の ESG 金融ハイレベル・パネル設置要綱第2項(4)に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースが纏めた「インパクトファイナンスの基本的考え方」との整合性について第三者意見を取得しています。

〈みずほ〉は、インパクト評価ならびにインパクト測定・マネジメント（※4）をお客さまとのエンゲージメントを通じて行い、ファイナンス面からポジティブなインパクトの創出を支援していきます。また、今後もお客さまのサステナビリティへの取り組みについての多様なニーズに応えるため、SX 推進支援の拡充に取り組んでいきます。

<案件の概要>

融 資 先 : 日本ドライケミカル株式会社
金 額 : 10 億円
資 金 使 途 : 長期運転資金
実 行 日 : 2026 年 3 月 31 日
契 約 期 間 : 5 年

Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス PRO 一次評価書

https://www.mizuhobank.co.jp/corporate/finance/growing_field/pif_pro/pdf/2025_01.pdf

※1 : 「Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス PRO」

2022 年 10 月 6 日付プレスリリース「Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス PRO」の取扱開始について

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20221006release_jp.pdf

※2 : ポジティブ・インパクト金融原則

国連環境計画・金融イニシアチブ（UNEP FI）の銀行および投資メンバーであるポジティブ・インパクト・ワーキンググループが 2017 年に発表した SDGs 達成に向けた金融の共通枠組みであり、持続可能な開発の 3 側面（環境・社会・経済）について、ポジティブ・ネガティブの両面からインパクト評価を行う包括的内容となっている。また、UNEP FI はインパクト特定のツールとして、12 のインパクトエリアと 34 のインパクトトピックからなるインパクトレーダーを提示している。

※3 : 社会的インパクト

「短期、長期の変化を含め、当該事業や活動の結果として生じた社会的、環境的なアウトカム」のこと。アウトカムは、事業や取り組みのアウトプットがもたらす変化、便益、成果のこと。

※4 : インパクト測定・マネジメント（Impact Measurement and Management, IMM）

グローバル・インパクト投資ネットワーク（GIIN）の定義に基づき、ネガティブなインパクトを低減させ、ポジティブな社会的・環境的インパクトの意図的な創出について、その測定とマネジメントを実行すること。

以 上

特定された インパクト	KPI/ 設定の考え方・施策	SDGs
		17の目標、169 のターゲット
健康および安全性 (ポジティブ)	<p>【KPI】(連結かつ単年度および累計の目標)</p> <p>・研究開発投資： 2030年3月末までに35億円以上(7億円/年)</p>	 
健康および安全性 (ネガティブ)	<p>【KPI】(連結かつ単年度の目標)</p> <p>(1) 労働災害休業件数：0件を達成し、維持</p> <p>(2) 健康経営優良法人：認定を維持</p>	 
気候の安定性 (ネガティブ)	<p>【KPI】(下記の各工場かつ各時期までの目標)</p> <p>(1) 社用車のハイブリット・EV車導入率： ・2031年3月期までに福島工場、千葉工場において 100%を達成し、維持</p> <p>(2) 照明LED導入率： ・2027年3月期までに千葉工場において100%を達成 し、維持</p>	 
廃棄物 (ネガティブ)	<p>【KPI】(下記の各工場かつ単年度の目標)</p> <p>・廃棄物リサイクル率： 福島工場において95%以上を維持 千葉工場において85%以上を維持</p>	